

取り組みの課題

②学生・生徒へのコンテンツの工夫や、
各取り組みに関する効果の確認について

YouTubeを活用したPR広告配信

県民に身近である「除雪」などをテーマにしたテレビCMを放映してきたが、昨今の担い手不足や「女性の活用」、「新3K」(給与、休暇、希望)など新たな課題も顕在化してきたため、若者・女性が建設業に抱くイメージの向上を図り、入職につながることを目的に、スマートフォン等からの動画接触率が高いYouTubeを媒体にしたアニメCM制作を制作し、それぞれ広告配信しました。

パソコンやタブレット、スマートフォンを通じ、若者の生活に密着しているインターネットと、世界的に関心の高いアニメを組み合わせることで、予想以上の反響があり、業界紙や地元新聞にも取り上げられるなど、広く県民に周知できました。

「トンネルつくり」編



<http://www.shinkenkyo.or.jp/>

【概要】

■配信動画

- ①「トンネルつくり」編
- ②「自分キラキラ！建設女子」編

■対象：高校生、大学生、若年層
(13～24歳)

■エリア：新潟県全域
近隣県の土木学科がある大学周辺

■再生回数

- ①約26万回
- ②約45万回

■その他

配信動画と連携して、建設業について理解を深めてもらえる内容のランディングページも作成して、広報に努めている。

「自分キラキラ！建設女子」編



「トンネルつくる」編



「自分キラキラ!」
建設女子」編



2



新潟の暮らしを支える建設業





一般社団法人石川県建設業協会

〒921-8036

金沢市弥生2丁目1番23号

TEL: (076) 242-1161 (代)

FAX: (076) 241-9258

<http://www.ishikenkyo.or.jp/>



石川県土木部監理課

〒920-8580

金沢市鞍月1丁目1番地

TEL: (076) 225-1712

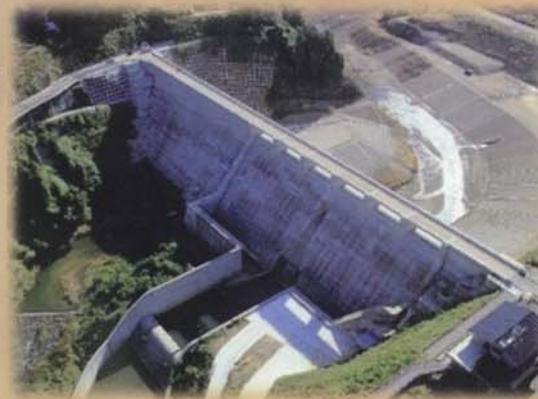
FAX: (076) 225-1714

<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/>

表紙: (左上から)のと里山海道、
金沢城公園、辰巳ダム、金沢港



建設産業を知ろう!
～“未来”を創り、“ふる里”を守る仕事～



建設産業のお仕事紹介

あなたの街のあれもこれも建設産業のお仕事です！

ダム建設

道路建設

公園整備

河川改修

ビル建築

トンネル建設

高速道路建設

新幹線建設

港湾整備

災害対応・除雪

地震や洪水、土砂崩れといった災害が発生すると、道路や建物、電気・ガス・水道などに被害が生じるため、災害からの復興にも、建設業者の力が不可欠です。他にも、雪が降った際の除雪活動で活躍しています。

“未来”を創る建設産業

地域のため、みんなのために がんばっています！
— その1 —

新幹線の建設

2015年3月に東京・金沢間を結ぶ北陸新幹線が開業しました。現在は、金沢・敦賀（福井）延伸に向け、作業を進めています。



(金沢・敦賀延伸に向けた建設現場)

北陸新幹線が開業したことによって、
○金沢～東京間の移動時間が短縮

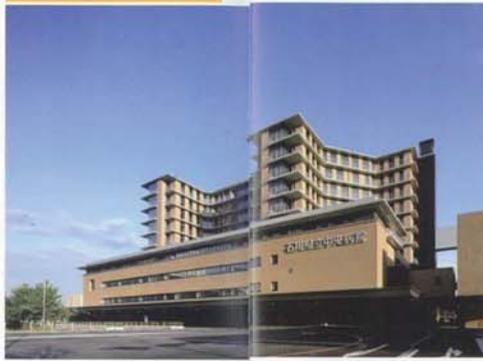
| | | |
|-------|----------|-------------|
| 開業前 | 約3時間50分 | |
| 開業後 | 最速2時間28分 | 約1時間20分の短縮！ |
| 平成26年 | 241万9千人 | |
| 平成29年 | 413万5千人 | 約1.7倍に増加！ |

○首都圏からの観光入込客数が増加

建造物の建築

新県立中央病院のような公共施設の建設や、金沢城公園橋爪門の復元工事なども行っています。

新県立中央病院



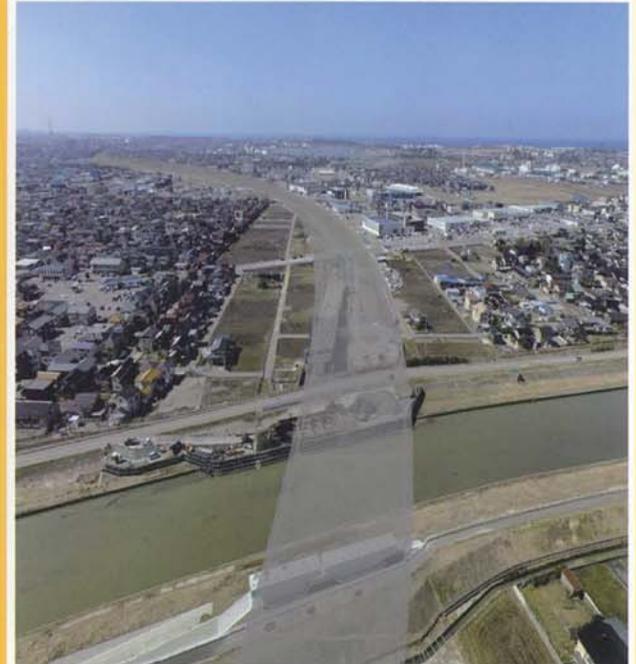
金沢城公園 橋爪門



道路の新設・改良

自動車や自転車、歩行者の通行を担い、人や物資の輸送に必要な不可欠な道路を造っています。

金沢外環状道路 海側幹線の整備



※写真中は建設ルート (建設中の現場)

“ふる里”を守る建設産業

地域のため、みんなのためにがんばっています！

— その2 —

浸水被害防止

豪雨によって河川が氾濫し、道路や家屋が浸水する被害が全国で起こっています。このような浸水被害を防止するため、河川の幅を広げたり、堤防の性能を強化する工事を行っています。

<改修前>



<改修後>



(米町川 (志賀町))

土砂災害防止

突然起こる土砂崩れから人命や家屋を守るため、雨や地震で危険ながけ地が崩れないよう工事を行っています。



(工事実施後のがけ地)

道路の除雪

冬場、雪が降っても流通や通勤・通学などに支障が出ないように、道路の除雪を行っています。



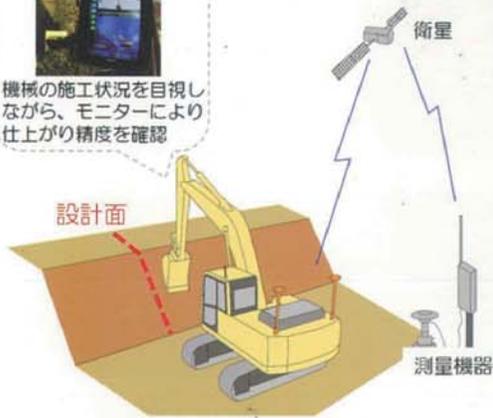
(除雪風景)

先端技術の活用が進む建設産業

ICT建設機械の活用

経験の浅い若手技術者や女性が建設現場で活躍できるように、ICT（情報通信技術）の活用が進んでいます。

例えばICT建設機械は、人工衛星による位置情報などを取り込むことにより、設計どおりに建設機械を自動あるいは半自動制御で動かすことができ、誰でも安全で効率的に工事を進めることができます。



ICT施工の概要

ショベルの先端が設計で決まった高さになると機械が自動停止するため、操縦者は土を削りすぎることなく、安心して作業を行うことができます。



ICT建設機械モニターイメージ

より安全に！より効率的に仕事をしています！

ドローンが活躍しています！

建設現場では、工事を始める前に現場の状況を確認するための測量を行います。

この測量は、人の手で時間をかけて行っていたが、ドローンの活躍により、短時間で広範囲の測量作業ができるようになりました。

また、山奥などの簡単に人が立ち入れない場所の確認も簡単にできるようになり、ICT建設機械の制御に必要なデータを取得するなど、建設現場の様々な場面で活用されています。



測量データを
3次元化



一般国道416号
小松市新保町地内



のと里山海道
内灘海浜橋

みんなで成し遂げる建設産業

設計者

注文者（工事の依頼主）や実際に工事をする現場のオペレーター、職人の意見をまとめて、それを図面にする仕事です。



オペレーター

ショベルカーやブルドーザーなど、工事現場で作業するのに欠かせない機械を操縦する仕事です。

基本的に、操縦には免許が必要となります。



たくさんの方が協力して仕事をしています！

現場監督

たくさんの方が働く工事現場でも工事が『安全に』『スムーズに』進むよう、工事現場の安全確保やスケジュール管理などを行う仕事です。



職人

専門的なスキル（技術）を活かして仕事をします。

大工工事、左官工事、電気配線工事など、様々な分野の職人がいます。

